

令和8年度（2026年度）新規研究課題

課題番号：R08-02

課題名：秋冬キャベツの安定生産に向けた夏期高温対策と長期安定出荷・一斉収穫を可能とする技術の確立

研究期間：令和8年度～令和10年度（2026年度～2028年度）

研究担当：農林業技術部 農業技術研究室

1 研究の背景

加工・業務用キャベツの需要は年々増加していることから、本県ではJ A 山口県の県域振興品目の一つとして、集落営農法人を中心に栽培されており、年間600t以上の出荷を計画している。

キャベツを加工・業務用で出荷する場合、出荷前契約となるため計画的な出荷が求められるが、近年の夏期異常高温の影響で、8～9月定植のものは初期生育が不安定となり、計画通りの出荷が難しい状況となっている。

また、高温等の影響により生育がバラつくため、一斉に収穫することが難しく、収穫に手間がかかることから作付面積が増加していない。今後作付面積を増加させるには、収穫作業の省力化に向けて、機械収穫を念頭に置いた一斉収穫が可能な栽培技術対策が必要となっている。

2 目的

夏期の異常高温対策や長期安定出荷が可能となる品種作型の検討、生育均一化に向けた衛星データの活用を検討することで、秋冬キャベツの安定生産に向けた栽培体系の組立を行う。

3 研究内容

- (1) 夏期の異常高温に対応する技術の検証
- (2) 長期安定出荷が可能となる品種・作型の検討
- (3) 生育均一化に向けた衛星データの活用の検討

4 研究のポイント

- ・農水省「みどりの食料システム戦略」でも革新技術として位置づけられている「バイオスティミュラント」や既存技術を組み合わせることで、夏期の異常高温への耐性を高める。
- ・山口県加工・業務用キャベツ等生産出荷協議会を中心に技術導入を進め、秋冬キャベツの安定生産と作付面積拡大を図る。

秋冬キャベツの安定生産に向けた夏期高温対策と 長期安定出荷・一斉収穫を可能とする技術の確立

農林業技術部 農業技術研究室
研究期間：令和8年～令和10年

【研究内容】

- 1 夏期の異常高温に対応できる技術の検証
- 2 長期安定出荷が可能となる品種作型の検討
- 3 生育均一化に向けた衛星データの活用検討

夏期の異常高温への対応

バイオスティミュラント



環境ストレス耐性の向上

スーパーセル苗技術



耐乾性・耐虫性の向上

×

長期安定出荷、一斉収穫技術

長期安定出荷に向けた品種・作型の検討

▲：定植 ■：収穫時期

品種	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
A	▲								■	■						
B		▲														
C			▲													
D				▲												



品種 B

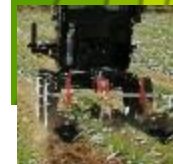
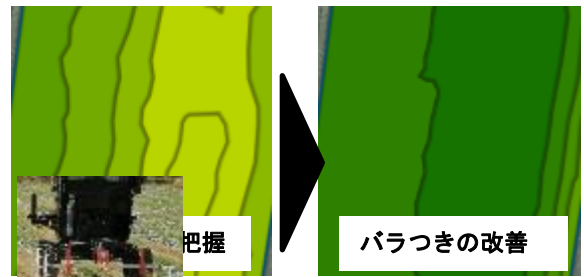


品種 C



品種 D

衛星データの活用



把握

バラつきの改善

生育状況に応じた適切な管理

一斉収穫の実施

【 目 標 】

- ・ 高温乾燥下での活着率 50%向上
- ・ 衛星データと生育収量の相関把握
- ・ 本県に適した品種・作型の選定
- ・ 生育均一化による一斉収穫